

新組合長に渡邊氏

JAめぐみの 山内氏は退任



めぐみの
農業協同組
合(JAめ
ぐみの)は
24日、通常

総代会と理事会を美濃加茂市島町のかもくろで開き、任期満了に伴う役員改選で、3期9年務めた山内清久代表理事組合長(74)が退任し、後任に県農業協同組合中央会(JA岐阜中央会)元専務理事の渡邊健彦氏(66)＝写真＝を選出した。任期は3年。

案など7議案が可決された。25年度から3年間の第8次中期経営計画の初年度は「組合員・地域とともに食と農を支える協同の力の発揮」の基本方針に向け「持続可能な農業の実現」「地産地消と地域活性化への貢献」などを重点に事業を展開する。

渡邊氏は1982年、JA岐阜中央会に入会。組織経営部長や常務理事などを歴任、2021年から専務理事を務め、24年6月に退任した。他に、加藤正和代表理事専務(63)を再任。常務理事に和田富吉畜産部長(63)、野倉昌明金融共済推進部長(57)、石原隆光経営対策室長(53)、代表・常勤